

デジタルハーツホールディングス (TYO: 3676)

引続きエンタープライズ事業が伸長し、2桁の増収。AGESTスピノフ上場準備は着実に進捗

▷決算サマリー：エンタープライズ事業が牽引し、2桁増収。戦略投資により営業減益も、概ね計画通りの進捗で、通期増益を目指す

デジタルハーツホールディングス（以下、同社）の2024/3期1Q決算は、エンタープライズ事業が牽引し、売上高は前年同期比2桁増、93.0億円となった。一方、営業利益は、エンターテインメント事業の減収の影響や、(株)AGESTスピノフ上場関連費用も含めた戦略投資により販管費が増加したことなどにより減益となったが、概ね計画通りで着地した（4.0億円）。親会社株主に帰属する四半期純利益は3.4億円、18.3%の減益に。

セグメント別では、エンタープライズ事業の売上高は46.6億円（29.9%増）、営業利益0.8億円（240.4%増）。引続きDX加速等の追い風を受け、中核子会社のAGESTを中心に売上を拡大。未だエンターテインメント事業と比較すると水準は低いが、大幅な増益となった。一方、エンターテインメント事業の売上高は46.6億円（3.3%減）、営業利益8.4億円（18.5%減）。国内デバッグの前年同期の売上が高水準であったことの反動はあるが、概ね計画通り。セグメント利益は、売上減に加え、優秀な人材確保のためテスター時給の引き上げを行った影響などにより減益となった。

▷株価動向：調整局面続く

同社株価は、5月の前期決算発表以降1,300円前後の水準で推移してきたが、今回の決算発表を受け一段と下げることとなった。前回のレポートにも記したように、(株)AGESTのスピノフ上場の投資家にとってのメリットが十分伝わりづらいことに加えて、1Qの減益決算が一因と推察される。今後、下期に掛けて収益の改善が進むとともに、スピノフ上場準備が進捗することによる同社株価の再評価に期待したい。

▷2024/3期通期決算：通期予想は変更なし

1Q終了時点で、2024/3期通期予想については変更なし。売上高40,750百万円（11.6%増）、営業利益3,120百万円（4.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円（162.6%増）を据え置いている。1Q末時点の、それぞれの通期予想に対する進捗率は、22.8%、13.0%、16.1%。同社では、概ね会社計画通りの進捗としており、下期以降の収益性改善により、スピノフ上場の準備費用（約250百万円）を織り込みつつも、4年連続となる営業増益の達成を目指している。

▷(株)AGESTのスピノフ上場：上場に向けた準備を推進

前期決算発表と合わせて公表したAGESTのスピノフ上場計画であるが、既に主幹事・監査法人を選任。併せて、上場企業としての本部機能構築に向けた人材の再配置、中途採用を実施。計画通り、着実に進行しているもようだ。

1Q決算アップデート

情報テクノロジー

2023年9月8日

株価(9/7)	1,130円
52週高値/安値	2,053/1,109円
1日出来高(3ヶ月)	95.2千株
時価総額	269億円
企業価値	248億円
PER(24/3予)	11.98倍
PBR(23/3実)	2.90倍
予想配当利回り(24/3)	1.86%
ROE(23/3)	9.11%
営業利益率(23/3)	7.38%
ベータ(5年間)	0.90
発行済株式数	23.890百万株
上場市場	東証プライム

株価パフォーマンス



%	1ヶ月	3ヶ月	12ヶ月
株価	-16.4%	-8.9%	-34.6%
相対株価	-19.9%	-16.2%	-46.3%

注目点

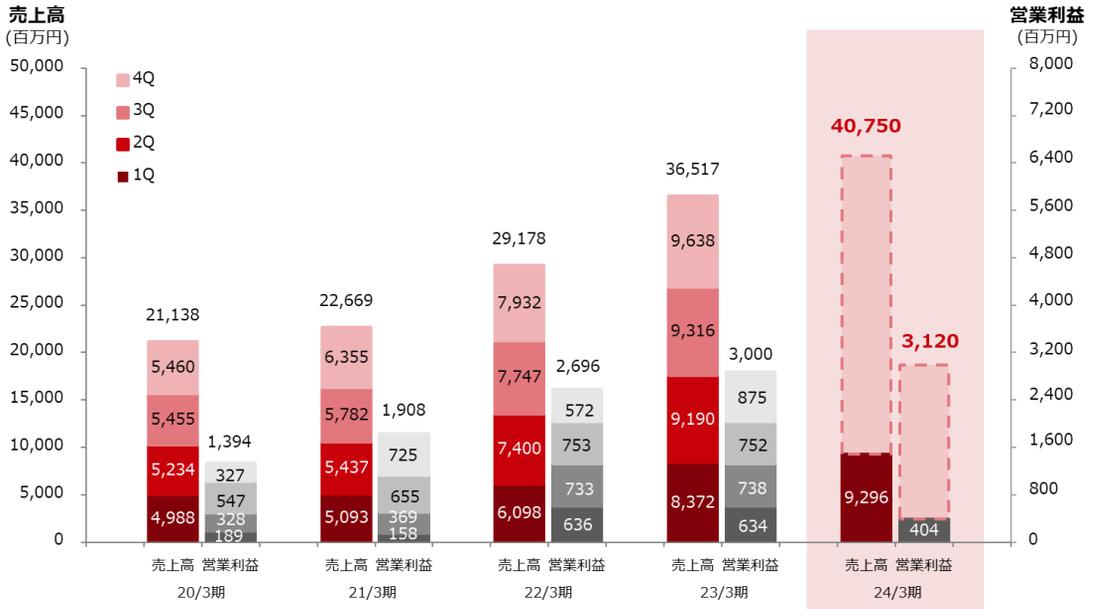
ゲームデバッグで創業し、エンタープライズ向けソフトウェアテストに展開。DXも追い風に、エンタープライズ向け事業が急成長中。エンターテインメントはグローバル展開にも注力へ。エンタープライズ事業の中核会社AGESTの上場準備開始を発表。

当レポート(決算アップデート)は、デジタルハーツホールディングスの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
2020/3	21,138	9.8	1,394	-13.2	1,372	-16.9	792	-49.7	36.31	14.00
2021/3	22,669	7.2	1,908	36.9	1,975	43.9	974	23.0	45.15	14.00
2022/3	29,178	28.7	2,696	41.3	2,774	40.4	1,778	82.5	82.25	15.00
2023/3	36,517	25.2	3,000	11.3	3,152	13.6	799	-55.0	36.50	21.00
2024/3 (会予)	40,750	11.6	3,120	4.0	3,160	0.2	2,100	162.6	95.86	21.00
2023/3 1Q	8,372	37.3	634	-0.3	632	-5.6	413	-15.1	19.14	0.00
2024/3 1Q	9,296	11.0	404	-36.3	415	-34.4	338	-18.3	15.20	0.00



通期連結売上高 / 営業利益トレンド



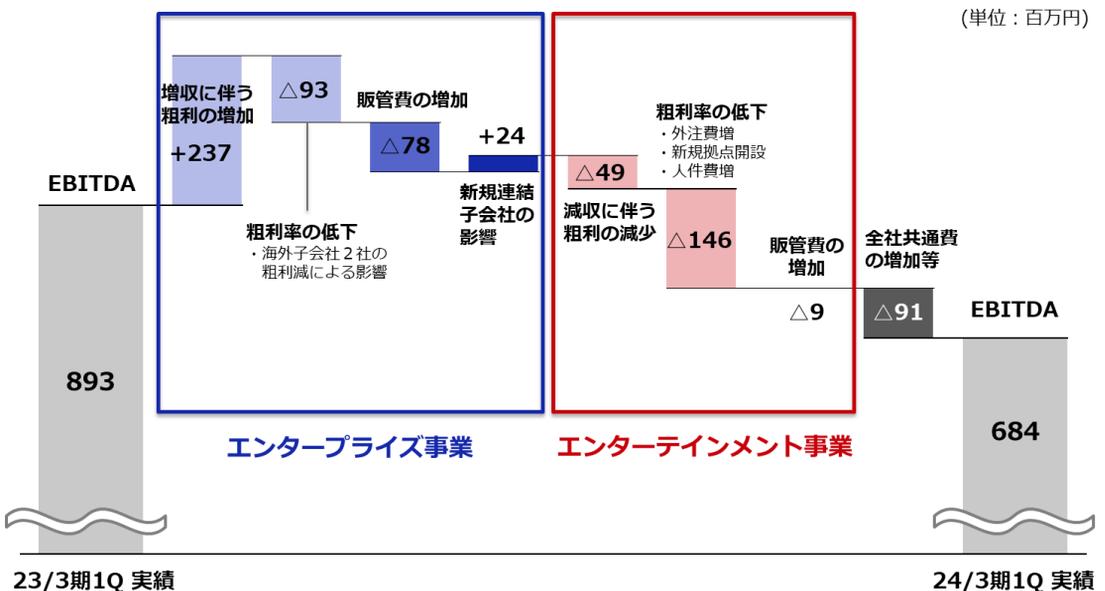
出所：同社 2024年3月期 第1四半期決算説明資料 (2023/8/10)

◇ 2024/3期1Q決算：増収減益で着地。引続きエンタープライズ事業が売上を牽引

同社の2024/3期1Q決算は、エンタープライズ事業が牽引し、売上高は1Qとして過去最高の9,296百万円、11.0%の増収を達成した。一方営業利益は、エンターテインメント事業が減収となったことに加え、(株) AGEST スピンオフ上場のための費用も含めた戦略的投資により販管費が増加した結果、404百万円、36.3%の減益となった。同社では、概ね計画通りに進捗しており、通期での営業増益を目指すとしている。親会社株主に帰属する四半期純利益は338百万円、18.3%の減益となった。

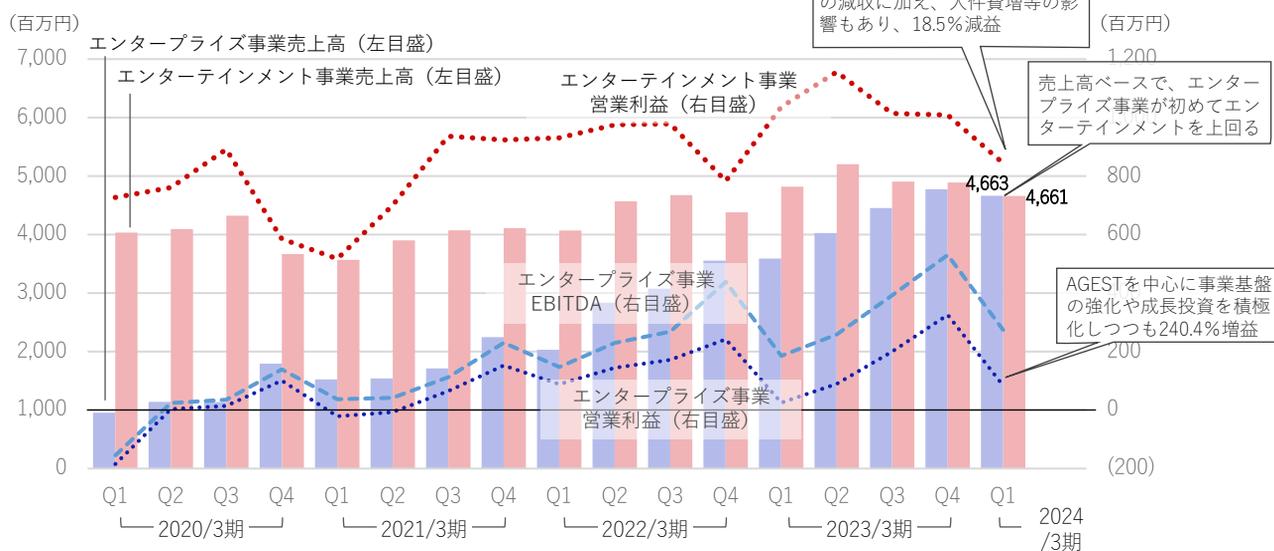
EBITDAベースでの増減分析は、下図を参照。エンタープライズ事業のEBITDAは、海外子会社の粗利減による粗利率の低下や販管費増をこなし、増収に伴う粗利の増加により、前年同期の185百万円から、274百万円に47.7%の増加となった。一方、エンターテインメント事業は、減収に伴う粗利の減少及び粗利率の低下が大きく響き、同1,123百万円から918百万円へと18.3%減少している。

EBITDA増減分析



出所：同社 2024年3月期 第1四半期決算説明資料 (2023/8/10)

セグメント別売上高/利益の推移 (四半期ベース)



出所：同社資料より Omega Investment 作成

◇ セグメント別動向：（上図及びP7の表も参照）

1) エンタープライズ事業：売上高 4,663百万円、29.9%増、営業利益 83百万円、240.4%増

DXを追い風とした既存事業の拡大にM&Aの上積み効果もあり、前年同期比 約3割の売上増を実現。一方で、粗利率は、海外子会社2社での売上減少や人件費増等による採算性の悪化により一時的に低下、前年同期の26.7%から24.0%となった。一方、販管費は、営業強化や採用等の戦略投資を行いつつも、10億円前後のコントロールを継続。その結果、セグメント利益は、83百万円と 240.4%増に。セグメント利益率も、前年同期の 0.7%から 1.8%へと大きく改善した。

サブセグメントの動向は以下の通り。

—QAソリューション：売上高 3,101百万円（47.5%増）。引続きDX加速等の追い風を受け、中核子会社の(株)AGENTを中心に順調に売上を拡大。当1Qより、SAPの導入支援を行う(株)GPC（4月に子会社化）の連結を開始しておりその分の売上寄与があるが、同M&Aの効果を除いても、前年同期比 38%増の大幅増収を達成している。海外子会社2社（DEVELOPING WORLD SYSTEMS, MK Partners）における売上の減少や、人件費増の影響等で粗利率は一時的に低下（28.2%、前年同期比 4.0ポイント低下）した。同社では、これらの海外子会社のマネジメント体制の見直し等を進めており、2Q以降の粗利率は30%台に回復すると見込んでいる。

中核子会社であるAGENTを中心に、“テック”ブランドを活かした積極的なエンジニア採用活動を継続したほか、AGENTの認知度向上に向けたプロモーション活動等を推進。また、ミュレーションテストに続きコード解析を新たにローンチする等、開発の最終工程におけるテストの実施だけではなく、開発の上流工程から品質を支える“シフトレフト”に対応した高付加価値型ソリューション“QA for Development”のサービスを引続き拡充している。

QAソリューションの主要KPIは、下表参照。1Q末の受注顧客数は前年同期比 +197社、平均顧客単価も 13百万円と大きく拡大している。エンジニア数については、前年度において海外子会社における人員の最適化を行なった（-120名）が、国内だけで見ると206名の増加となっており、着実に増強が進んでいるといえよう。

—ITサービス及びその他：売上高 1,562百万円（5.1%増）。リモートワークの拡大等を

QAソリューション主要KPI

	2022/3期		2023/3期				2024/3期	
	4Q	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
受注顧客数 (社)	748	627	650	693	808	824		
平均顧客単価 (百万円)	10	10	12	12	13	13		
エンジニア数 (名)	924	961	1,026	993	1,009	1,047		

出所：同社資料より Omega Investment 作成

背景に増加する需要を確実に獲得、セキュリティ監視サービスは27%増加。2021年6月に子会社化したアイデンティティのエンジニア登録人数が29千人の規模に達する等、事業基盤は着実に拡大している。

2) エンターテインメント事業：売上高4,661百万円、3.3%減、営業利益844百万円、18.5%減

前年はコンソールゲームを中心に高水準の売上を記録しており、その反動もあり減収となった。利益面では、売上減に加えて、優秀な人材確保のためにテスター時給を引き上げる等の人件費増の影響もあり、18.5%の減益に。同社では、概ね会社計画通りとして、売上高、利益とも下期の回復を見込んでいる。

一国内デバッグ：売上高3,171百万円（4.9%減）。コンソールゲームにおいて大型タイトルが相次いで発売された前年からの反動が大きく減収に。但し、四半期売上高は31億円と高水準を維持しており、概ね会社計画通り進捗している。売上減少に加え、4月から実施した時給アップによる人件費増、新拠点開設（熊本）等のコスト増が要因で、粗利率は前年同期の32.8%から28.8%に低下した。同社では、売上拡大及び価格転嫁の浸透により、下期には再度30%台に回復すると見込んでいる。

一グローバル及びその他：売上高1,490百万円（0.4%増）。ゲーム規制の影響が残る中国市場において不透明さが続くが、注力分野であるグローバルサービス（翻訳・LQA、マーケティング支援）の売上が、台湾事業の再編等の影響を除くと、前年同期比13%の成長を記録している。また、韓国事業のマーケティング人材強化や欧米のローカライズの強化等を進め、グローバルネットワーク構築に向けた海外アライアンスを推進中。

◇ 2024/3期業績予想：期初予想を据え置き

1Q終了時点で、2024/3期通期予想については変更なし。売上高40,750百万円（11.6%増）、営業利益3,120百万円（4.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円（162.6%増）を据え置いている。特に、エンターテインメント事業は減収減益となったが、同社では織り込み済みとしており、下期に掛けては回復を見込んでいる。1Q末時点の、それぞれの進捗率は、22.8%、13.0%、16.1%。今期はスピンオフ上場の準備費用（約250百万円）も利益面のマイナス要因となるが、下期以降の収益貢献により、4年連続となる営業増益の達成を目指すとしている。

◇ 株価動向：調整局面続くが、今後の動向を注視

同社株価は、5月の前期決算発表後、大きく下落。一時1,300円を割り込み、その後、1,300円前後の水準で推移してきたが、今回の決算発表を受け一段と下げることとなった。2021年12月に付けた直近の高値、2,700円と比較し半分以下に落ち込んでいる。エンタープライズ事業は引き続き高成長が期待できるものの、利益貢献度ではエンターテインメント事業に及ばず、一方でエンターテインメント事業においては、前期国内デバッグ市場好調の反動と中国市場での不透明感が残っている。また、スピンオフ上場の準備費用の負担等もあり、通期業績予想における利益の伸びが弱含みとなっていることが、株価の重石となっていると考えられる。しかしながら、エンタープライズ事業は引き続き高成長が見込まれ、それに伴って利益の伸びが期待される。また、エンターテインメント事業はグローバル事

デジタルハーツホールディングス (3676) 株価動向 (直近3ヵ年)



業、新規分野での成長ポテンシャルがあることにも留意したい。これら成長期待の顕在化と、下期に掛けての収益面での改善、そしてスピノフ上場準備が順調に進捗し、同スキームの投資家にとってのメリットが周知されれば、同社株価の再評価も期待されるだろう。

◇(株)AGESTのスピノフ上場プロジェクト

同社は2023/3期決算の開示に併せて、(株)AGESTのスピノフ上場の準備を開始したことを公表した。同社では、2017年より第二創業としてエンタープライズ事業に本格参入。当初は投資が先行し全体の収益を圧迫したが、直近ではエンターテインメント事業と並ぶ売上高を積み上げ、また利益面でも黒字化が定着してきた。2022年4月には、グループ組織再編により、エンタープライズ事業は中核企業である(株)AGESTを中心とする組織体制に移行したが、今回のスピノフ上場で同社グループは新たな成長のステージへと踏み出すこととなる。

同社では、AGESTのスピノフ上場後の成長イメージを下図のように示している。エンタープライズ事業は、先端品質技術を追求したグローバルNo.1のQAカンパニーへと、今後、事業拡大と成長投資を加速。一方で、エンターテインメント事業は、既に国内市場では大手の一角として優位な立場を占めているが、国内の非ゲーム分野や新技術関連、加えて、アジア・欧米も視野に入れたグローバル事業を展開し、エンターテインメント業界のグローバル・クオリティ・パートナーとしての成長を目指す計画である。

(株)AGESTのスピノフ上場のイメージ



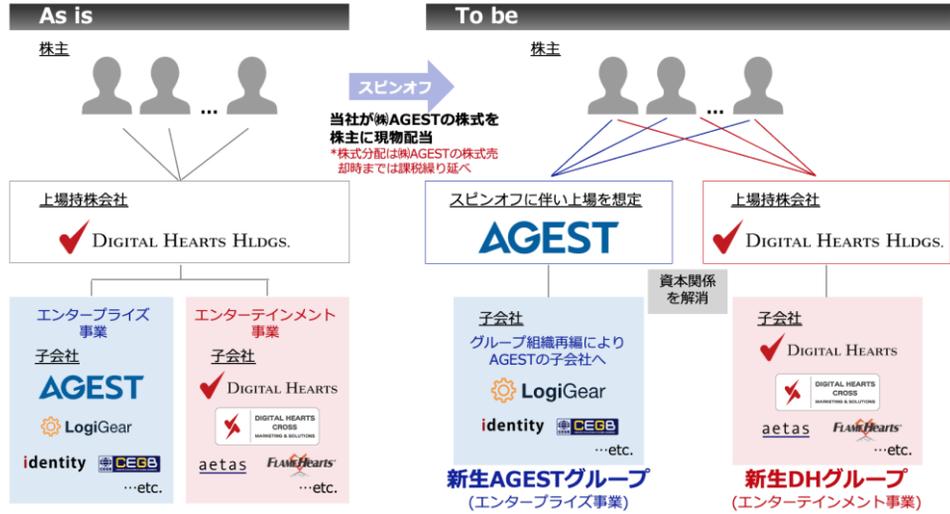
出所：同社 2024年3月期 第1四半期決算説明資料（2023/8/10）

(株)AGESTを切り出すことにより、AGESTグループの成長が一層加速され、またエンタープライズ事業のヴァリュエーションで評価されるようになれば、同社グループ全体の企業価値の一層の向上が期待されよう。同社では、スピノフ上場のスキームを次頁の図の通り説明している。現在のの上場持株会社であるデジタルハーツホールディングスが(株)AGESTの株式を株主に現物配当。その結果、AGESTとデジタルハーツホールディングス間では、資本関係が解消され親子上場の形は避けられることとなる。そして、同社株主はスピノフ上場後、AGEST株、デジタルハーツホールディングス株、両社の株式を所有することになる。

今後数年掛けて準備、スキームの確定や証券会社、監査法人、取引所の審査を経て、詳細が詰められていく予定で、実際の上場までに一定の期間が必要となる見通しで、既に、主幹事証券会社及び監査法人を選任。また、上場企業としての本部機能構築に向けた人材の再配置、中途採用を実施しており、上場のための準備は、計画通り着実に進行しているもようだ。

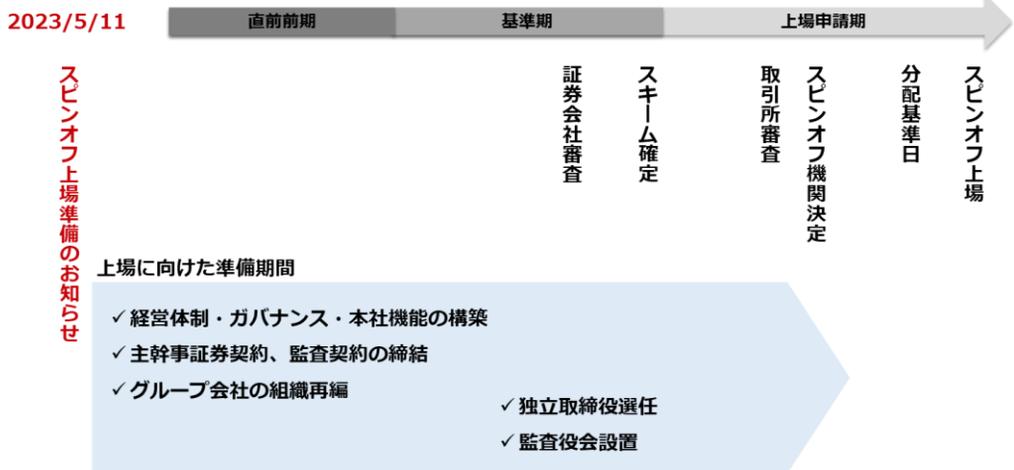
同社では、今回のスピノフ上場の期待効果を、経営、資本、人材を分離・独立させることで、両事業の成長ポテンシャルを最大化させることとしている。スピノフ上場の株主にとってのメリットを周知するために、今後のプロジェクトの進捗状況等について、引続き的確な情報発信が有効と考えられる。

スピノフ上場のスキーム



出所：同社 2024年3月期 第1四半期決算説明資料（2023/8/10）

スピノフスケジュールイメージ



*一般的に想定しうるスケジュールを記載。
実際のスケジュールは、スピノフ上場準備の過程において今後修正が入る可能性有。

出所：同社 2024年3月期 第1四半期決算説明資料（2023/8/10）

財務データ |

	2021/3				2022/3				2023/3				2024/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q*	2Q*	3Q*	4Q*	1Q
[セグメント別売上高]													
売上高	5,093	5,437	5,782	6,355	6,098	7,400	7,747	7,932	8,372	9,190	9,316	9,638	9,262
前年同期比	2.1%	3.9%	6.0%	16.4%	19.7%	36.1%	34.0%	24.8%	37.3%	24.2%	20.3%	21.5%	11.0%
エンタープライズ事業	1,523	1,540	1,710	2,246	2,029	2,833	3,074	3,553	3,589	4,025	4,451	4,774	4,663
前年同期比	59.6%	35.1%	50.9%	25.2%	33.2%	83.9%	79.7%	58.2%	76.8%	42.0%	44.8%	34.3%	29.9%
売上高構成比	29.9%	28.3%	29.6%	35.3%	33.3%	38.3%	39.7%	44.8%	42.9%	43.8%	47.8%	49.5%	50.2%
QAソリューション	1,129	1,127	1,267	1,633	1,395	1,572	1,772	2,121	2,102	2,481	2,730	3,166	3,101
前年同期比	-	-	-	-	23.6%	39.5%	39.9%	29.9%	50.7%	57.8%	54.1%	49.3%	47.5%
売上高構成比	22.2%	20.7%	21.9%	25.7%	22.9%	21.2%	22.9%	26.7%	25.1%	27.0%	29.3%	32.8%	33.9%
ITサービス及びその他	393	413	442	613	634	1,260	1,301	1,432	1,486	1,543	1,721	1,608	1,562
前年同期比	-	-	-	-	61.3%	205.1%	194.3%	133.6%	134.3%	22.4%	32.3%	12.4%	5.1%
売上高構成比	7.7%	7.6%	7.6%	9.6%	10.4%	17.0%	16.8%	18.1%	17.7%	16.8%	18.5%	16.7%	16.8%
エンターテインメント事業	3,566	3,900	4,072	4,109	4,069	4,566	4,672	4,378	4,818	5,201	4,906	4,889	4,661
前年同期比	-11.6%	-4.7%	-5.8%	12.1%	14.0%	17.1%	14.7%	6.6%	18.4%	13.9%	5.0%	11.7%	-3.3%
売上高構成比	70.0%	71.7%	70.4%	64.7%	66.7%	61.7%	60.3%	55.2%	57.6%	56.6%	52.7%	50.7%	50.1%
国内デバッグ	2,681	2,846	2,953	3,054	2,931	3,030	3,149	3,011	3,334	3,561	3,220	3,720	3,171
前年同期比	-	-	-	-	9.3%	6.4%	6.7%	-1.4%	13.7%	17.5%	2.2%	8.6%	-4.9%
売上高構成比	52.7%	52.4%	51.1%	48.1%	48.1%	41.0%	40.7%	38.0%	39.8%	38.8%	34.6%	33.9%	34.1%
グローバル及びその他	887	1,050	1,118	1,054	1,137	1,536	1,522	1,366	1,484	1,640	1,685	1,620	1,490
前年同期比	-	-	-	-	28.2%	46.3%	36.1%	29.6%	30.4%	6.8%	10.7%	18.5%	0.4%
売上高構成比	17.4%	19.3%	19.3%	16.6%	18.7%	20.8%	19.7%	17.2%	17.7%	17.8%	18.1%	16.8%	16.0%
営業利益	158	369	655	725	636	733	753	572	634	738	752	875	404
前年同期比	-16.4%	12.4%	19.7%	121.3%	301.3%	98.5%	14.9%	-21.1%	-0.3%	0.6%	-0.2%	52.8%	-36.3%
営業利益率	3.1%	6.8%	11.3%	11.4%	10.4%	9.9%	9.7%	7.2%	7.6%	8.0%	8.1%	9.1%	4.3%
エンタープライズ事業	-21	-7	64	152	87	144	171	241	24	79	194	340	83
前年同期比	-	-	360.3%	51.3%	-	-	163.8%	58.7%	-72.0%	-45.2%	13.3%	40.6%	240.4%
セグメント利益率	-1.4%	-0.5%	3.8%	6.8%	4.3%	5.1%	5.6%	6.8%	0.7%	2.0%	4.4%	7.1%	1.8%
エンターテインメント事業	517	700	936	923	930	975	978	783	1,036	1,155	1,014	1,008	844
前年同期比	-28.9%	-8.0%	5.0%	57.9%	79.9%	39.3%	4.5%	-15.2%	11.4%	18.5%	3.6%	28.8%	-18.5%
セグメント利益率	14.5%	17.9%	23.0%	22.5%	22.9%	21.4%	20.9%	17.9%	21.5%	22.2%	20.7%	20.6%	18.1%

注) * 2023年3月期第4四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、全社及びエンタープライズ事業の営業利益に反映している。また、2023/3期より、エンタープライズ事業のサブセグメント区分を変更している。売上高、営業利益とも調整額の項目があるため、セグメントの合計と全体は一致しないことがある

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ II

	2021/3				2022/3				2023/3				2024/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q*	2Q*	3Q*	4Q*	1Q
[損益計算書]													
売上高	5,093	5,437	5,782	6,355	6,098	7,400	7,747	7,932	8,372	9,190	9,316	9,638	9,296
売上原価	3,819	4,002	4,001	4,700	4,271	5,290	5,579	5,645	5,899	6,478	6,690	6,817	6,890
売上総利益	1,273	1,437	1,781	1,655	1,827	2,109	2,167	2,287	2,472	2,713	2,625	2,820	2,406
販売費及び一般管理費	1,115	1,067	1,126	1,150	1,191	1,375	1,414	1,714	1,837	1,970	1,868	1,961	2,001
営業利益	158	369	655	725	636	733	753	572	634	738	752	875	404
営業外収益	38	10	24	5	38	31	12	30	5	150	78	-14	15
営業外費用	2	3	4	10	4	4	5	21	7	4	11	44	4
経常利益	194	376	675	720	670	760	759	582	632	889	824	800	415
特別利益		19	32		13	66	1	1	-	-	41	33	-
特別損失	82	13	16	415	2	42	32	35	-	6	171	1,052	2
税金等調整前四半期純利益	113	381	691	318	681	785	730	547	632	882	694	-218	412
法人税等合計	38	122	224	145	189	281	233	35	198	306	216	418	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	99	256	438	180	487	429	445	415	413	533	450	-601	338
[貸借対照表]													
流動資産	6,648	7,291	8,017	9,744	9,604	9,848	10,658	10,392	10,874	12,182	11,569	12,528	12,160
現金及び預金	3,027	3,482	4,085	5,076	4,911	5,435	5,746	5,208	5,573	6,850	5,948	6,456	6,240
受取手形及び売掛金	2,889	3,099	3,201	4,097									
受取手形、売掛金及び契約資産					4,161	3,872	4,372	4,411	4,614	4,672	4,930	5,377	5,120
固定資産	3,205	3,167	3,160	4,593	6,321	6,178	6,342	7,217	8,158	8,505	8,343	7,052	7,234
有形固定資産	560	549	565	598	602	623	621	693	1,067	1,077	1,100	1,169	1,259
無形固定資産	1,445	1,424	1,433	2,670	4,389	4,244	4,225	5,139	5,206	5,750	5,593	4,188	4,146
のれん	1,032	991	950	2,467	4,175	4,042	3,945	4,588	4,812	5,301	5,082	3,468	3,411
投資その他の資産	1,199	1,193	1,161	1,324	1,330	1,309	1,495	1,384	1,883	1,678	1,649	1,694	1,828
資産合計	9,854	10,459	11,177	14,338	15,925	16,026	17,001	17,610	19,033	20,688	19,913	19,581	19,394
流動負債	4,450	4,655	5,061	7,904	8,954	8,775	9,354	9,679	10,759	11,330	9,495	9,930	10,126
短期借入金	2,546	2,551	2,552	4,728	5,534	5,406	5,406	5,421	6,806	7,106	5,106	5,106	5,606
固定負債	62	132	135	119	294	55	58	364	162	154	113	176	185
長期借入金	-	66	65	63	236	-	-	169	-	-	-	-	-
負債合計	4,513	4,788	5,196	8,024	9,249	8,830	9,413	10,044	10,921	11,485	9,608	10,107	10,311
純資産合計	5,340	5,670	5,980	6,314	6,677	7,196	7,588	7,566	8,111	9,202	10,304	9,474	9,082
株主資本	4,841	5,172	5,460	5,642	5,983	6,436	6,719	6,774	7,030	7,779	8,838	8,283	8,061
資本金	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
資本剰余金	355	331	331	331	331	338	338	-	-	60	375	393	66
利益剰余金	6,848	7,105	7,393	7,575	7,916	8,342	8,626	9,019	9,275	9,809	10,031	9,427	9,532
自己株式	-2,662	-2,565	-2,565	-2,565	-2,565	-2,545	-2,546	-2,545	-2,545	-2,391	-1,868	-1,838	-1,838
新株予約権	13	13	13	13	-	-	-	-	-	10	6	6	-
負債純資産合計	9,854	10,459	11,177	14,338	15,925	16,026	17,001	17,610	19,033	20,688	19,913	19,581	19,394
[キャッシュ・フロー計算書]													
営業活動によるキャッシュ・フロー		101		1,416		1,703		3,077		1,430		2,850	
税金等調整前四半期純利益		494		1,504		1,466		2,744		1,520		1,996	
投資活動によるキャッシュ・フロー		-261		-1,813		-1,682		-2,537		-1,496		-1,903	
財務活動によるキャッシュ・フロー		-90		1,730		316		-546		1,488		141	
フリーキャッシュフロー		-160		-397		21		540		-66		947	
現金及び現金同等物の増減額		-252		1,341		359		132		1,676		1,283	
現金及び現金同等物の期首残高		3,704		3,704		5,041		5,041		5,173		5,173	
現金及び現金同等物の四半期末残高		3,447		5,041		5,400		5,173		6,850		6,456	

注) 2023年3月期第4四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行なっており、PL上の営業利益に反映している。それ以外、経常利益以下、BS、CFについては非開示のため修正を行っていない

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ (通期ベース)

(単位：百万円、円)

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
[損益計算書]										
売上高	10,137	13,285	15,011	15,444	17,353	19,254	21,138	22,669	29,178	36,517
前期比 (%)	-	31.0	13.0	2.9	12.4	11.0	9.8	7.2	28.7	25.2
売上原価	6,653	9,336	10,690	10,938	12,394	13,791	15,566	16,235	20,787	25,885
売上総利益	3,484	3,948	4,320	4,506	4,958	5,463	5,571	6,433	8,391	10,632
販売費及び一般管理費	1,703	2,431	2,356	2,599	3,222	3,857	4,177	4,524	5,695	7,631
営業利益	1,780	1,517	1,963	1,906	1,735	1,605	1,394	1,908	2,696	3,000
前期比 (%)	-	14.8	29.4	-2.9	-9.0	-7.5	-13.2	36.9	41.3	11.3
営業利益率 (%)	17.6	11.4	13.1	12.3	10.0	8.3	6.6	8.4	9.2	8.2
営業外収益	22	66	43	128	57	109	22	80	112	220
営業外費用	15	57	49	37	10	63	44	13	34	68
経常利益	1,788	1,525	1,958	1,997	1,782	1,651	1,372	1,975	2,774	3,152
特別利益	18		9	17	2	733		55	83	75
特別損失	14		835	573	151	51	75	526	112	1,231
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,525	1,132	1,441	1,632	2,333	1,296	1,504	2,749	1,996
法人税等合計	700	975	734	641	503	745	499	530	739	1,109
親会社株主に帰属する当期純利益	1,087	539	361	795	1,200	1,575	792	974	1,778	799
前期比 (%)	-	-50.4	-33.0	119.7	51.0	31.3	-49.7	23.0	82.7	-55.0
当期純利益率 (%)	10.7	4.1	2.4	5.1	6.9	8.2	3.7	4.3	6.1	2.2
[補足データ]										
EPS	45.96	22.61	15.72	35.58	55.14	72.13	36.31	45.15	82.25	36.50
ROE (%)	33.6	13.8	10.5	29.2	40.0	38.6	16.3	18.4	28.0	10.1
ROA (%)	29.8	19.8	26.5	28.2	22.0	17.9	13.4	15.8	17.4	17.0
配当	16.00	34.00	38.00	23.00	11.50	13.00	14.00	14.00	15.00	21.00
配当性向 (%)	16.3	37.6	60.4	32.3	20.9	18.0	38.6	31.0	18.2	57.5
[貸借対照表]										
流動資産	5,549	5,756	5,064	6,221	6,732	7,403	7,453	9,744	10,392	12,528
現金及び預金	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,197	3,739	5,076	5,208	6,456
受取手形及び売掛金	1,483	2,374	2,230	1,942	2,480	2,724	2,985	4,097		
受取手形、売掛金及び契約資産									4,411	5,377
固定資産	1,611	2,516	1,469	1,430	1,842	2,428	6,178	6,342	7,217	7,052
有形固定資産	323	368	299	298	473	558	579	598	693	1,169
無形固定資産	695	1,505	580	238	286	763	1,379	2,670	5,139	4,188
のれん	595	1,169	437	201	150	481	1,027	2,467	4,588	3,468
投資その他の資産	592	642	589	893	1,082	1,107	1,225	1,324	1,384	1,694
資産合計	7,160	8,272	6,533	7,651	8,575	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581
流動負債	3,372	3,823	3,374	3,759	3,929	4,192	5,134	7,904	9,679	9,930
短期借入金	1,610	1,603	1,299	1,630	1,600	1,704	2,546	4,728	5,421	5,106
固定負債	20	280	69	1,033	1,075	627	63	119	364	176
長期借入金	12	216	46	2	-	50	-	63	169	-
負債合計	3,393	4,104	3,444	4,793	5,005	4,819	5,198	8,024	10,044	10,107
純資産合計	3,766	4,168	3,089	2,858	3,570	5,012	5,438	6,314	7,566	9,474
株主資本	3,687	4,036	2,773	2,590	3,340	4,763	4,898	5,642	6,774	8,283
資本金	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
資本剰余金	300	300	368	277	331	366	355	331	-	393
利益剰余金	3,086	3,435	3,604	4,164	5,113	6,408	6,904	7,575	9,019	9,427
自己株式	0	0	-1,499	-2,152	-2,405	-2,311	-2,662	-2,565	-2,545	-1,838
新株予約権		14	14			13	13	13	-	6
負債純資産合計	7,160	8,272	6,533	7,651	8,575	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581
自己資本比率 (%)	51.9	49.5	43.1	34.4	39.3	48.7	46.3	39.7	39.7	45.0
1株当たり純資産	155.63	171.30	125.80	119.96	154.61	219.06	228.62	263.32	323.21	395.65
[キャッシュ・フロー計算書]										
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,561	870	1,080	1,825	1,436	889	1,086	1,416	3,077	2,850
税金等調整前当期純利益	1,792	1,525	1,132	1,441	1,632	2,333	1,296	1,504	2,744	1,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	-368	-568	-17	-610	-618	62	-1,018	-1,813	-2,537	-1,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	-950	-1,913	-69	-250	-693	-515	1,730	-546	141
フリーキャッシュフロー	1,193	302	1,063	1,215	818	951	68	-397	540	947
現金及び現金同等物の増減額	1,508	-634	-860	1,146	564	258	-458	1,341	132	1,283
現金及び現金同等物の期首残高	2,184	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,162	3,704	5,041	5,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,162	3,704	5,041	5,173	6,456

注) 2023年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映している

出所：同社決算短信等より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。